

平成 23 年 度

第2回名寄市総合計画策定審議会専門部会
(都市基盤整備部会)

日 時 平成 23 年 3 月 28 日 (月) 18 時 30 分～
場 所 名寄庁舎 4階大会議室

1, 開 会

2, 挨 拶

- ・建設水道部長挨拶
- ・都市基盤整備部会長挨拶

3, 自己紹介

≪事務局≫

建設水道部担当職員

4, 議 事

(1) 前期基本計画及び実施計画の点検及び情勢等の変化に伴う課題について
(総合計画前期計画点検シート)

≪主要施策≫

- 1.住宅の整備
- 2.都市環境の整備(公園整備・公園管理)
- 3.道路の整備(道路維持)
- 4.雪を活かし雪に強いまちづくりの推進
- 5.防災対策の充実

5, その他

6, 閉 会

■別添 第2回都市基盤整備部会 顛末及び発言内容

(司会)齊藤管理課長

(挨拶)野間井建設水道部長

一 事務局 自己紹介 一

(進行)菅井部会長

議事 (1)前期基本計画及び実施計画の点検及び情勢等の変化に伴う課題について

1. 住宅の整備 原口建築係主任説明

(質疑応答)

(委員) 冒頭部長から計画より遅れていると話があったが、資料通り住宅については予定通りですか？

(原口主任) 概ね予定通りです。

長寿命化計画について説明

昭和32年より名寄市の公営住宅建設が始まり、老朽化している住宅が多くある。建て替えが必要であるが、国の方針で今あるものを改善・改修しながら、ライフサイクルコストを抑えるために早めの修繕をおこない、長寿命化に努めていく。

(野間井部長)風連瑞生団地は環境整備にシフトしていく。トイレの水洗化、排水環境整備を23・24年度で行う予定である。住宅の建替えすると、家賃に跳ね返るので入居者と意見交換会等をして計画を策定をしていく。

(委員) 公営住宅の現在の入居状況は？

(明石課長) 名寄市には989公営住宅がある。建替え目的で政策空家が170ある。それ以外は、定期募集に併せて空き家がでるが、ほぼ満室で、空き住宅は特にない。

2. 都市環境の整備 開発計画指導係長説明

(公園整備) 東土木係長説明

(公園管理) 小笠原管理係長説明

(質疑応答)

(委員) 総合計画の枠組みに商店街や地主の意向がはいっていないように感じられる。地主との協議をして、土地活用していく必要があるのではないかと？

(土田主幹) 名寄地区の商店街整備について、国の都市再生整備計画事業をスタートしている。平成22年11月に商店街・商工会議所と協議を行い、24～26年度に具体的に事業化したい。地権者とも協議を進めていく。

(委員) 景観の問題、南広場の問題について、南広場は災害時必要なものだと思うが、空き地は夏場見た目が非常に悪いので、どうにかならないか？

(野間井部長)南広場の利用については、なかなか難しい問題で、空き地にしているが、祭りの駐車場などとして多種多様に活用されているのが現実で、サッカー場にしてほしい等の要望はあるが、議論していただき、方向づけをしていただければと思っている。

商店街の関係は、駅横から商店街、文化センターくらいまでのエリアで都市再生整備計画を進めていて、中心市街地活性化についても考えていかなければならない。

(委員) 望湖台自然公園は残すのか？

(野間井部長) 公園は健康の森と同じ位置づけで、経済部所管で振興公社が維持管理を行う。

(委員) 商店街について商工会議所、商店街、市の3者がようやく一緒に検討する状況になった。商店街からすれば喜ばしいことである。

3. 道路の整備 東土木係長説明

(道路維持) 森谷維持係長説明

(質疑応答)

(委員) 名寄地区の舗装率が低いのはなぜか？

(野間井部長) 以前は過疎債を活用できず、財源的に厳しく、道路舗装できなかった。また、名寄市は道路幅が広く、1mの単価が高かった。さらに、簡易舗装が多く、維持補修費がかかり整備が遅れている。

(委員) 道路の草の苦情が多い。特に国道がひどい。道路愛護事業の進め方がわからない。最近の気象で、鉄砲水が多く、砂利が流れることあり、その対応についてはどうか？

(森谷係長) 道路愛護事業はエリアを決めて町内会で対応していただき、交付金を支払っている。砂利の流れについて、排水整備等ハードに対する要望は他になるが、ソフト事業として対応できるものは、現状を維持するよう行っていきたい。

(野間井部長) 国の事業仕分けの対象になり、草刈りも厳しい状況になる。除雪も同様である。市はなんとかできる限りやらせて頂きたい。放置すれば危険であるので市長会等でも要望していく。

(委員) 農家は道具もあるので、時々道路の草刈り等を行なっている。できることは協力したい。

(野間井部長) 市道については、正直地域の方々に協力していただければ大変ありがたい。個人的な補償・支出はできなが、愛護事業活用等、何かできないか検討していきたい。

4. 雪を活かし雪に強いまちづくりの推進 森谷維持係長説明

(質疑応答)

(委員) 22年度は雪が少なく除雪に関して良かったのではないかと。市の年間除雪費用はどれくらいか？

(野間井部長) 燃料高と人件費等の関係で業者は大変である現状で、除雪費削減とはならない。

市の除雪費用は年間2億9400万円概ね3億円である。

除雪事業は機械維持・更新が大変な問題で、新たな機械を市で購入し貸与することになるので、後期計画では検討していく必要がある。

(高橋課長) 除雪は、年間契約で雪の多い年、少ない年と予測ができないが、負担が少ないよう考えていく。排雪については、雪が少なければ節減できるかたちをとっている。

5. 防災対策の充実 東土木係長説明

(質疑応答)

(委員) 山は思っているより崩れている。草で隠れているが、危険があるので点検をした方がよいと思う。

(東係長) 課題として整理して取り上げていければと思う。

(菅井部会長) 事務局より説明があったが、ご意見がなかった方、手短かに一言いただきたい。

(委員) 市民の為の事業であるが、公園・道路等について、近年ペットを飼う方が増えているので、ペットの糞・尿のことを含めて検討が必要になるのではないかと。

昨年大雨災害があったが、市から業者への連絡体制等、市の組織作りを確立して欲しい。

財政難で大変だと思うが、道路整備に力をいれて頂きたい。

防塵と簡易舗装の違いについてわかった。

知らなかったことが多くあり、自分なりに勉強させていただいた。

その他

次回専門部会は 4 月 6 日(水) 18:30 名寄庁舎 4 階 第 2 委員会室